

15 学習活動の充実

①施策の展開	学習環境の整備・充実	課名	社会教育課 地域教育振興課
②取組概要	あらゆる年齢層に応じた様々な学習機会や、多様な方法による学習情報の提供を行う。また、市民の学習活動の普及促進をめざし、指導者養成に努める。		
③構成取組	(1) 生涯学習推進事業 (2) 社会教育施策推進事務 (3) 施設管理事業（教育センター、中央公民館、エスポール） (4) 成人式事業		

④取組計画	<p>(1) 市民の生涯学習活動を支援するため、学習情報を提供し充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>まちのせんせい</u>₍₂₆₎活用事業を積極的に推進するため、実践発表会等を行い、スキルの向上に努める。 ・ 成人教育講座事業については、PTA協議会や各コミュニティセンター、ふらっとねやがわと連携しながら、市民ニーズに合致したテーマでの学習機会の提供を図る。 <p>(2) 任期満了となる社会教育委員の新たな委嘱を行うとともに、社会教育全般を系統的に整理し、推進する方策の検討を進める。</p> <p>(3) 教育センター及び中央公民館、エスポールにおいては、<u>指定管理者</u>₍₂₇₎による効率的・効果的な管理運営に努める。</p> <p>(4) 例年どおり早い段階から実行委員会を組織し、内容の更なる充実に努めるとともに参加者の増加を図る。</p>		
-------	--	--	--

⑤取組実績

(1) 市民の生涯学習活動を支援するため、各種講座やイベントの行政情報を提供する「講座・イベント編」、学習活動を行う団体やサークルの情報を提供する「団体・サークル編」の2種類の生涯学習情報誌（ねやがわ生涯学習あんない）を発行した。

<生涯学習情報誌発行数・掲載情報数>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
発行冊数	5,700 冊	5,700 冊	5,700 冊
掲載団体数	982 団体	916 団体	924 団体
掲載講座数	728 講座	796 講座	772 講座

- ・ まちのせんせい活用事業は実践交流会や、保育所・幼稚園・小中学校・福祉施設等へ積極的にPRを行った。
- ・ 成人教育講座は、市PTAや市内コミュニティセンターと共催したため、市民ニーズをより反映した講座を開催することができた。

<事業参加状況>

	項目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
まちのせんせい 養成活用事業	延べ登録者数	97 人	106 人	122 人
	派遣依頼件数	73 件	142 件	154 件
	派遣人数	69 人	136 人	151 人
	主な指導内容	マジック・人形劇・自然・手作り工作・他 42 種別		
成人教育講座	延べ参加者数	819 人	651 人	889 人

(2) 任期満了に伴い社会教育委員を新たに委嘱し、社会教育委員会に「寝屋川市の社会教育の推進について」の諮問を行った。

- ・ 市民代表の意見を聴取し、社会教育施策の充実を図るため、社会教育委員会を年4回開催した。また、委員自らが社会教育行政に関する学習会を年3回、役員会を年6回開催するとともに、社会教育の推進に関し、調査・審議を行う専門部会を社会教育委

員会議に設置した。

(3) 指定管理者による効率的・効果的な管理運営を行うとともに、より適正な管理運営となるよう、実地調査や指定管理者からの事業報告等に基づき、実績検証を実施した。

- ・ 教育センターの事業については、「子どもデイサービス事業」「生涯学習事業」「イベント事業」を実施した。ガリバーハウスの募集方法を見直すとともに青少年交流事業回数を増加した。また、事業参加者で結成されたサークルへの支援や助言を行った。

<教育センターの利用者数>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業参加者数	51,111 人	47,888 人	56,128 人
貸館利用者数	16,847 人	19,771 人	20,008 人

- ・ 中央公民館の事業については、「市民大学」「寿楽学級」など従来から実施している講座の充実を図るとともに、「すぷりんぐふぁみりい音楽会」などの新規事業を実施した。また、サークル連絡会の活性化のため、加盟の関連講座を主催講座に取り入れた。

<中央公民館の利用者数>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業参加者数	21,772 人	20,004 人	17,565 人
貸館利用者数	164,011 人	154,000 人	169,011 人

- ・ エスポアールの事業については、「青少年成人事業」「児童健全育成事業」「親子ふれあい事業」「世代間交流事業」「子育て支援事業」を実施した。空調機の故障等により貸館利用者数は減少しているが、事業内容の充実やアンケートによる改善等により事業参加者数は安定している。

<エスポアールの利用者数>

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業参加者数	93,481 人	112,027 人	112,312 人
貸館利用者数	109,038 人	105,864 人	104,852 人

- (4) 一般公募等で実行委員会を組織し、実行委員自らが企画・立案に関与でき、自らの手で作り上げていくことができた。また、寝屋川リーダーズの高校生も当日はスタッフとして参加し、事業を手伝うことで将来の担い手の育成にも繋げることができた。

<成人式参加状況>

	項目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
成人式	対象者数	2,195 人	2,325 人	2,392 人
	参加者数	1,378 人	1,406 人	1,413 人
	参加率	62.8%	60.5%	59.1%

⑥評価

- (1) 市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習情報誌を発行するとともに、その内容をホームページに掲載し、幅広い情報提供を図ることができた。
- ・ まちのせんせい活用事業については、前年比 108%の依頼件数があり、利用者から好評を得ることができた。また、新たに 16 名のまちのせんせいの登録があり、福祉部門での内容が充実した。依頼は増えたが、依然、依頼内容に偏りがみられた。今後も、未派遣のまちのせんせいの活用や依頼の少ないジャンルの PR に積極的に取り組むとともに、さらなる人材育成と人材派遣に努めていく必要がある。
 - ・ 成人教育講座については、コミュニティーセンターと連携することで、その地域におけるニーズに合った講座を開催することが

でき、参加者も増加傾向にある。

(2) 社会教育委員会議については、社会教育委員としての共通認識を持つために、課題及び方向性について学習会を行うことで、社会教育委員会議の活性化を図ることができた。今後は、設置した専門部会の機能を充分活かし、市民協働による社会教育推進計画の策定事務を進める必要がある。

(3) 教育センター及び中央公民館、エスポアールにおいては、引き続き指定管理者による管理運営を行うとともに、実績検証を実施し指示事項を指示するなど、より適正にかつ効果的・効率的な管理運営となった。また、平成 25 年度で教育センターおよびエスポアールの指定管理期間が満了になるため、指定管理者の指定に向け、事務を進める必要がある。

- ・ 教育センターについては、事業回数を増やすことにより、参加人数を増加（前年比 1.17 倍）することができた。また、サークルへの支援等により、継続的な活動の実施に寄与した。（満足度 98.9%）

- ・ 中央公民館については、新規事業の実施により、新たな年齢層の利用を促進するとともに利用団体の育成・支援が一層充足した。（満足度 91.6%）

- ・ エスポアールについては、空調機の故障等により貸館利用者数は減少したが、事業内容の充実やアンケートによる改善等により、事業参加者数は安定し推移している。（満足度 92.2%）

(4) 新成人に対するアンケート結果で約 9 割の新成人に好評を得ることができた。